小6理科 ものの燃え方 No.3

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

なまえ

出席番号　　必要な人は書く

問1　ろうそくや木などが燃えるとき、まわりの空気の中にある気体はどのように変化しますか。

- ○ 二酸化炭素の一部が使われて減り、酸素が新しくできて増える。
- ○ 酸素の一部が使われて減り、二酸化炭素が新しくできて増える。
- ○ 酸素も二酸化炭素もどちらも使われて減る。
- ○ 酸素も二酸化炭素もどちらも新しくできて増える。

問2　ろうそくや木が燃えるときに、空気中から一部が使われて減る気体は何ですか。

- ○ 窒素
- ○ 水素
- ○ 二酸化炭素
- ○ 酸素

問3　ものを燃やす前の空気の中に、酸素はおよそ何%含まれていますか。

- ○ 約10%
- ○ 約0.04%
- ○ 約21%
- ○ 約50%

問4　二酸化炭素を通すと、白くにごる性質がある液体はどれですか。

- ○ 石灰水
- ○ 食塩水
- ○ 炭酸水
- ○ 砂糖水

問5　ものを燃やすとき、ほのおの大きさを決めるのは、気体に含まれるどの気体の割合ですか。

- ○ 酸素の割合
- ○ ちっ素の割合
- ○ 二酸化炭素の割合
- ○ 水蒸気の割合

問6　ろうそくや木が燃えるとき、まわりの空気中の気体はどのように変化しますか。

- ○ 酸素の一部が使われて減り、二酸化炭素が発生して増える。
- ○ 酸素が発生して増え、二酸化炭素が使われて減る。
- ○ 酸素も二酸化炭素も、どちらも使われて減る。
- ○ 酸素も二酸化炭素も、どちらも発生して増える。

問7　水と置きかえて気体を集める方法には、どのような良い特徴がありますか。

- ○ 他の気体と混ざらずに集めることができ、集まった気体の量もひと目でわかること。
- ○ 気体の温度を下げて冷やすことができ、集まった気体の重さもひと目でわかること。
- ○ 気体の色を濃くすることができ、集まった気体のにおいもひと目でわかること。
- ○ 気体をかわかすことができ、集まった気体の温度もひと目でわかること。

問8　気体検知管を使うと、空気の中にあるどのようなことを調べることができますか。

- ○ ものが燃えるときの温度
- ○ 空気の重さや体積の変化
- ○ 気温や湿度の変化
- ○ 酸素や二酸化炭素の体積の割合

問9　ものが燃え続けるとき、まわりの空気はどのように動きますか。

- ○ 新しい空気は上から入り、燃えた後の空気は下から出ていく。
- ○ 新しい空気は下から入り、燃えた後の空気も下から出ていく。
- ○ 新しい空気は横から入り、燃えた後の空気は下から出ていく。
- ○ 新しい空気は下から入り、燃えた後の空気は上から出ていく。

問10　ろうそくの熱であたためられた空気が上へ動くのは、空気のどのような性質によるものですか。

- ○ あたためられると、まわりの空気よりも重くなる性質。
- ○ あたためられると、まわりの空気よりも軽くなる性質。
- ○ あたためられると、まわりの空気を冷やす性質。
- ○ あたためられると、まわりの空気を重くする性質。

問11　石灰水に、ものを燃やしたあとの空気を通すと、石灰水の様子はどうなりますか。

- ○ まったく変化しない
- ○ 青色に変わる
- ○ 白くにごる
- ○ 泡を出して消える